

2022年度 司法福祉全国研究集会

～今後の司法福祉ソーシャルワークに求められること～

現在の刑事司法福祉領域を取り巻く環境は、令和3年度から地域定着支援センターが「被疑者等支援業務」を新たな業務として支援を開始し、地方公共団体との連携など地域での新たな展開も始まっています。また、「懲役刑」と「禁固刑」の両刑を一元化し、新たに「拘禁刑」を創設する改正刑法が成立しました。これは、再犯防止の観点から、年齢や特性に合わせ作業と改善指導を組み合わせた処遇を行えるようにしたものです。

罪を犯した障がい者や高齢者の支援は確実に広がってきていますが、担い手である刑事司法に係るソーシャルワーカーとしての力量をも同時に求められています。そこで、今年度の司法福祉全国研究集会では、支援の質の向上を目的にテーマ設定をし、刑事司法ソーシャルワークの視点を皆さん共に考えたいと思います。2日目は、支援リスクの高い犯罪の事例から支援の視点を議論していきます。

1. 開催日：2022年11月26日（土）～11月27日（日）

2. 開催方法：オンライン研究集会（Zoom ウェビナー）

3. プログラム（予定）：

【1日目】

時 間	内 容
9:00～9:20	受付（オンライン会場への入室開始）
9:20～9:30	オリエンテーション、開会挨拶
9:30～11:00 (90分)	講演1「現在の刑事司法福祉と今後の展望」 講師：鷲野 明美 氏（日本福祉大学） ⇒現在の司法福祉の現状と、刑事司法ソーシャルワーカーが進むべき今後の方向性や支援の視点などを中心にお話いただきます。
11:00～11:10	休憩（10分）
11:10～12:40 (90分)	講演2「更生支援計画とは- 社会からの孤立を防ぐために-（仮）」 講師：山田 恵太 氏（弁護士、東京TSネットワーク代表） ⇒更生支援計画書の意義や果たしている役割等についてお話いただき、具体的な事例を通じて司法分野における権利擁護などについてもお話いただきます。
12:40～13:40	昼食休憩（60分）
13:40～15:10 (90分)	講演3「アディクション臨床の視点から福祉的支援の在り方を問う」 講師：丸山 泰弘 氏（立正大学） ⇒支援するソーシャルワーカーの視点から、クライアントのアディクションの考え方、捉え方（トラウマ、背景要素等）、福祉的支援の在り方についてお話いただきます。
15:10～15:15	翌日のガイダンス・一日目終了

【2日目】

時 間	内 容
9:00～9:20	受付（オンライン会場への入室開始）
9:20～9:30	オリエンテーション
9:30～12:30 (180分) ※途中休憩あり	講演4「支援リスクの高い重要犯罪の背景について～性や火に関する犯罪事例から～」 講師：日本社会福祉士会 リーガル・ソーシャルワーク研究委員会 ⇒支援リスクの高い重要犯罪の背景について、具体的な事例を通して見えてくる支援の視点を、参加者の皆さんとのグループワークを通じて共有し、支援の質を深めていきます。
12:30～12:40	まとめ・閉会あいさつ
12:40～12:45	閉会アナウンス

4. **参加対象**：社会福祉士等、司法福祉に関心のある方
5. **定員**：190名（先着順）
6. **参加費**：都道府県社会福祉士会の会員 6,000 円、会員以外 11,000 円（資料代含む）
7. **参加申込**：右下のQRコードもしくは、以下の申込URLからお申し込みください。

申込 URL：<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=oard-lctera-7ff165983a5c6fad023a36025796fb85>

申込期間：**2022年9月12日（月）～10月12日（水）まで**



＜申込に関する注意事項＞

- 参加の可否は、10月下旬に、ご登録いただいたメールアドレスに送信いたします。併せて、参加費の入金方法、キャンセル等の扱い等についてもご案内します。
 - お預かりした個人情報は、当研究集会の運営目的以外には使用いたしません。
 - 参加者が少数の場合には当研究集会を開催しないことがありますのでご了承ください。
8. **研修単位**：本研究集会は、すべてのプログラムを修了することで、生涯研修独自の研修・実績（①社会福祉士が行う研修で認定社会福祉士制度の認証を受けていない研修）の8時間となります。
9. **自然災害の発生・通信状況等により中止する場合について**：
自然災害の発生、通信状況により、やむを得ず本研究集会の開催を中止する場合があります。中止の判断基準は、本会・生涯研修センターホームページに掲載している「自然災害等発生時の研修会運営の判断について」をご確認ください。また、開催中止を決定した場合には、本会ホームページ「生涯研修センター最新情報」にてお知らせします。上記事由により、主催者側が開催の中止を決定した場合、ご入金いただいた参加費は返金いたします。なお、参加者の通信環境、通信機器の原因により、当日参加できない場合についての参加費の返金はいりませんので、予めご了承ください。
10. **主催**：公益社団法人 日本社会福祉士会

本研究集会は、オンライン（Zoom ウェビナー）で開催しますので、以下の「オンライン研究集会の参加方法」を必ずご確認くださいの上、お申し込みください。

公益社団法人 日本社会福祉士会
オンライン研究集会の参加方法

オンライン研究集会に参加いただくにあたり、事前に準備いただきたい事項、使用機器等についてご案内いたします。

◆ **本研究集会（Zoom ウェビナー）に参加するにあたり準備いただきたい事項**

パソコン、スマートフォン、タブレットから参加いただけますので、参加に必要な機器をご準備ください。参加いただくにあたっての必要な機器及び詳細を、以下に記載しておりますので、ご確認の上、お申し込みください。

本研究集会では、ビデオ講演会システム Zoom ウェビナーを使用しますので、事前に Zoom アプリをダウンロードしてください。なお、本研究集会に参加いただくだけならば Zoom アカウントの取得（サインアップ）は不要です。

◆ **使用機器の確認（詳細）**

本研究集会（Zoom ウェビナー）の参加にあたり、次の機器をご準備ください。

長時間にわたり、映像を視聴いただくため、安定した自宅等のインターネット回線（Wi-fi 等）でのご参加を推奨します。携帯電話会社の回線（パケット通信）でもご参加は可能ですが、データ使用量が大きいため、通信料金やお使いの端末の契約内容にご注意ください。

＜参加に必要な機器＞ ※以下のいずれかを満たしていることが必要です。

- ・ WindowsPC（Windows8.0 以降） ・ MacPC（OS10.9 以降） ・ スマートフォン（iOS8.0 以降、Android5.0x 以降）
- ・ タブレット（iOS8.0 または iPadOS13 以降、Android5.0x 以降）

◆ **その他**

参加者の通信環境、通信機器の原因により、当日参加できない場合の返金はいりませんので、予めご了承ください。

＜本件に関する問い合わせ先＞

公益社団法人 日本社会福祉士会 生涯研修センター

E-mail：kenshu-center@jacsw.or.jp TEL：03-3355-6541（月～金 10:15～16:15）